

福祉用具をうまく活用できるように支える

病気を抱えている人やその家族を支える

家族や子どもを支える

障がいのある人を支える

NPOとして支える

海外で問題を抱える人を支える

優しい気持ちで支える

制度や法律で支える

地域での生活を支える

生活困窮者を支える

安全な住環境で支える

ユニバーサルデザインの街や道具で支える

## ハート(ひと)とハード(もの)で福祉を拓く社会リハビリテーション学科

### ハート(ひと)を学ぶ...

誰もが安心して自分らしく生きることを願います。その願いを支えるため、生活上の問題がある人にどのように接点を持ち、どのように必要とするサービスにつないでいくか、さらにはサービスをどのように運営していくか(知識と技術)を、ひとと深く関わりあう演習や講義、現場での実習を通して学ぶことができます。

### ハード(もの)を学ぶ...

障がいや加齢によって自分でできないことが増えていきます。福祉用具やユニバーサルデザインの道具を用いることで、できなくなったことができるようになります。福祉用具を見て触って、まさに福祉用具を使ってでかけて自ら問題点を発見する、住宅の中で福祉用具を用いて生活してみるなど、実践中心で学ぶことができます。

社会リハビリテーション学科で取得可能な資格  
 社会福祉士(受験資格) 精神保健福祉士(受験資格) 社会福祉主事任用資格  
 高等学校教諭一種免許(福祉)  
 ※下記の資格取得を目指すこともできます。  
 福祉住環境コーディネーター 福祉用具専門相談員 介護職員初任者研修  
 重度訪問介護従事者

<http://www.kobegakuin-sr.jp/>

社会福祉と生活福祉デザインを学ぶ

# 社会リハビリテーション学科

# 第15回 気づきを築くユニットケア 全国実践者セミナー in神戸

2016年3月5日(土)～6日(日)

神戸学院大学 有瀬キャンパス

[〒651-2180 兵庫県神戸市西区伊川谷町有瀬518]

全国各地の  
実践現場へ!

—発表多数!—

今、話題の  
介護革命  
「動き出しは  
当事者から」

認知症ケア  
専門士単位  
3単位

実践発表者には発表者単位として  
1単位加算されます。



「気づきを築くユニットケア全国実践者セミナー」は、2001年の岡山県笠岡市をスタートに、これまで全国7か所で全14回が開催され、毎回、多数の実践現場から、日々の取り組みが発表されてきました。

ひとくちにユニットケアと言っても、その取り組みは施設によって実にさまざまです。既存施設を活用しながら、試行錯誤を重ねてようやくユニットケアに至った取り組みがあります。

このセミナーは、「ユニットケアの基本は現場の実践にある」との考えから、現場のスタッフがケアのあり方やスタッフの育成、施設と地域との連携などの実践をまとめ、伝え合い、交わり合い、より良いものにしていく場として開催します。このセミナーでの発表を機に、「お年寄りの表情が変わった」「職員の姿勢が変わった」「ケアが変わった」など、数多くの感想が寄せられています。

第15回目となる今回も、全国の実践発表をとおして、発表者と参加者がともに学び、考え合う場とすることを目的とし、神戸学院大学を会場に開催いたします。

主催：気づきを築くユニットケア全国実践者セミナー実行委員会  
 共催：神戸学院大学／特養・老健・医療施設ユニットケア研究会

1日目 3月5日(土)

11:50～12:00 開 会(各教室にて)  
12:00～14:05 実践リレー①(5発表)  
14:05～14:20 休 憩  
14:20～16:25 実践リレー②(5発表)  
16:25～16:40 休 憩  
16:40～17:55 実践リレー③(3発表)  
18:30～20:00 交 流 会

第15回 発表テーマ

第1部門

私たちがはじめた、一人ひとりをたいせつにするケアの  
取り組みで変わった施設ケア(初級編)

ユニットケアに取り組むことになったきっかけや、取り組みのなかで失敗してしまったこと、悩んだことなどの体験談、  
また取り組みから気づいたことや見えてきたことなどについて発表します。

第2部門

一人ひとりへの3大介護のあり方とその工夫(基礎編)

ユニットケアで3大介護(食事・入浴・排泄の介護)はどのように変わるのか。  
3大介護にまつわる苦労や工夫について、発表します。

第3部門

“食”の工夫で目指す、その人らしい豊かな暮らし

食事づくりや場づくり、買い物や外食、栄養マネジメントや口腔ケアなど、  
その人らしい豊かな暮らしを目指す取り組みを発表します。

第4部門

これまでの暮らしの継続をたいせつにした生活環境づくり

豊かに暮らすためには生活環境も欠かすことのできない要素の一つです。  
これまでに暮らしてきた環境をできる限り変えないための地域とのつながりや施設の設えの工夫などを発表します。

第5部門

介護者家族との協働で実現する、その人らしい暮らし方

利用者に身近な存在である家族はかけがえのないたいせつな存在であり、またさまざまな難しさを抱えていることもあります。  
ご本人が望まれるその人らしい暮らしとその人生を実現するための、家族との関係づくりや協働・連携の取り組みについて発表します。

第6部門

認知症の方とのコミュニケーションの工夫

認知症の方に対して尊敬と共感をもって関わるには? 認知症の方の行動に対する理解や悩み、日常生活での見守りなど、  
ケアに関する工夫や取り組みなどを発表します。

第7部門

ターミナルケアから学んだこと、考えたこと、伝えたいこと

施設は、日々暮らしをおくるだけではなく、人生の最期の場となることもあります。「施設での看取りのあり方」「医療機関との連携」  
「看取することをとおして築かれた家族との絆」など、施設におけるターミナルケアについて発表します。

第8部門

職員同士のチームケアや多職種との連携

一人ひとりの暮らしを支えるには、その方向性や情報を共有するチームの構築や職種を超えた連携が必要不可欠です。時には、施設を超えた  
協働や連携も必要となります。ケアに関わる専門職同士が協力しながら、利用者の暮らしを、より豊かにする取り組みを発表します。

第9部門

施設の人材確保、職場の環境づくりについて

昨今、ケアの現場では人不足が深刻な問題となっています。現場経験や知識が少ない初任者に、ユニットケアの考え方をどのように伝えて  
いくか。職員が魅力を感じ、働き続けてくれる職場とは? 募集から待遇の改善、辞めさせない工夫など職場の環境づくりを発表します。

第10部門

スタッフの育成、工夫したこと、苦労したこと

よりよいケアを提供すること、現場のさまざまな事情でリーダーや管理者は思い悩みます。いまの職員のやる気とやりがいを引き出  
すにはどうしたらよいか。スタッフの資質をどう伸ばしていくか、人材育成のための工夫や体制づくりについて発表します。

特別部門

思いのままに実践発表(ショート枠10分)

日頃の気づきを思いのままに。日頃のケアをするにあたって疑問や悩み、とにかく伝えたいことなど、なんでもOK!  
ケアを中心に愛を叫ぶ!? 通常よりも短い10分枠の実践発表です。

- 定 員 800人(※定員になり次第、締め切らせていただきます)
- 参加費 ■一般参加費 15,000円  
■実践発表者 13,000円  
※実践発表者は、1発表2人まで割引適応。
- 交流会費 2,000円
- 参加申込締切 2016年2月12日(金)

参加にあたっての留意点

1日目の実践発表は、各教室にて自由にお聞きいただくことになり  
ます。  
つきましては、参加者が多い教室では立ち見となる場合もござい  
ますので、あらかじめご了承ください。参加者の皆さまには、申込締  
切後、教室別の実践発表一覧をお送りいたします。一覧を参考に、各  
教室を移動してお聞きいただくことになります。  
なお、2日目の各会場につきましては、事前にお申し込みいただき  
ますので、参加申込書に第1希望と第2希望をご記入ください。

2日目 3月6日(日)

A-1

10:00～12:00 【アンコール報告】～好評だった発表のあれから1年、その後の展開を報告します～

★実践報告① 個人の思いを叶えることから始める「楽しみを感じるケア」  
うぐいす荘(兵庫県) 係 長 藤村 和代 ユニットサブリーダー 河合 恭兵

★実践報告② 「ただいま!!」～ここで生きていく～  
きのこ老人保健施設(岡山県) 看護師 塩飽 美保

★実践報告③ 「ここは、夜に入れねえのか?」からのスタート!  
寿山荘那須(栃木県) 介護主任 高久 直次 介護支援専門員 東田 光功

★サポーター ★インタビューアー  
特養・老健・医療施設ユニットケア研究会 代 表 武田 和典 神戸学院大学総合リハビリテーション学部 講 師 水上 然  
厚生労働省 関東信越厚生局 健康福祉部健康福祉課 課 長 懸上 忠寿

A-2

13:00～15:00 【現場実践支援講座A】知って欲しい既存施設病院でのユニットケア

★パネラー ★サポーター  
(特養)上士幌すずらん荘(北海道) 理事長 馬場 敏美 特養・老健・医療施設ユニットケア研究会 代 表 武田 和典  
(老健)聖ルカ苑(熊本県) 次 長 黒田 直 厚生労働省 関東信越厚生局 健康福祉部健康福祉課 課 長 懸上 忠寿  
(病院)三豊市立西香川病院(香川県) 院 長 大塚 智文 ★コーディネーター  
東北福祉大学総合福祉学部 教 授 高橋 誠一

B-1

10:00～12:00 【アンコール講座】認知症の方とのコミュニケーション方法「バリテーションへの誘い」

★講 師 関西福祉科学大学 教 授 都村 尚子

B-2

13:00～15:00 【現場実践支援講座B】「動き出しは当事者から」連続実践講座

★講 師 手稲溪仁会病院リハビリテーション部 副部長 大堀 具視

C-1

10:00～12:00 【制 度 説 明】改正介護保険における新しい地域支援事業とは?

★ミニ講演 倉敷市保健福祉局(前厚生労働省老健局振興課 課長補佐) 参 与 吉田 昌司  
★鼎談 全国コミュニティライフサポートセンター 理事長 池田 昌弘  
東北福祉大学 総合福祉学部 教 授 高橋 誠一  
仙台白百合女子大学 教 授 大坂 純

C-2

13:00～15:00 【特 別 企 画】新しい地域支援事業で高齢者の生活支援をどう築いていくの?

★パネラー ★コーディネーター  
宝塚市社会福祉協議会 事務局長 佐藤 寿一 神戸学院大学 総合リハビリテーション学部  
特別養護老人ホーム同和園 園 長 橋本 武也 教 授 藤井 博志  
明石市望海在宅介護支援センター センター長 永坂 美晴

★サポーター  
仙台白百合女子大学 教 授 大坂 純

12:00～13:00 昼食・休憩

ワクワクするような  
実践をたくさん  
作り出しましょう!

Let's make the life of facilities

申し込みに関するお問い合わせ

JTBビジネスネットワーク・JTB東北ECデスク  
(ご連絡いただくのは東京の事務所となっております)  
〒170-0013 東京都豊島区東池袋3-23-14 ダイハツ・ニッセイ池袋ビル7F  
JTBビジネスネットワーク気付 JTB東北ECデスク  
「第15回気づきを築くユニットケア 全国実践者セミナー係」あて  
電話:0120-989-960 FAX:0120-937-224  
E-mail:tohoku-ec@jbn.jtb.jp(営業時間:土日祝除く平日 9:30～17:30)

内容に関するお問い合わせ

気づきを築くユニットケア全国実践者セミナー実行委員会  
事務局/特養・老健・医療施設ユニットケア研究会 担当:田村・大場・小野寺  
〒981-0932 宮城県仙台市青葉区木町16-30  
シンエイ木町ビル1階  
TEL:022-727-8732 FAX:022-727-8737  
E-Mail:unit@clc-japan.com  
URL:http://www.clc-japan.com